

東京農工大学科学博物館分館

「近代農学資料展示室」特別企画展示

本学農学部は、明治7年に設置された農事修学場に起源を持ち、駒場農学校、帝国大学農科大学実科、東京高等農林などを経て、日本の近代農学の、実学の伝統の中心的存在としてあり続けてきました。そしてその中で近代農学の成立にかかわる歴史的資産をいくつか収集してまいりました。そうした所蔵品を中心に、近代農学の成立にかかわる歴史的資産を整備し、文化財として登録されている農学部本館に博物館施設を設置する計画を平成12年度より進めておりました。この度、東京農工大学科学博物館分館として、名称も新たに「近代農学資料展示室」として特別公開展示を致します。今回は、昨年を引き続き、収集されたコレクションの一部を公開し、広く利用していただくことを考え、東京都文化財週間に合わせ所蔵品の一部を一般の方々に見て頂く事を計画しました。

場所：東京農工大学農学部 本館3階（183-5809 東京都府中市幸町3-5-8）
京王線府中駅またはJR国分寺駅より京王バス、晴見町下車

日時：11月12日（金）～14日（日） 一般公開
学園祭期間中のため車両等の入校はできません。

展示内容：

- 1) 日本における獣医学教科書の一系譜（本館3階）10時～16時
- 2) 応用昆虫学史 ー石井象二郎の世界ー（本館3階）10時～16時